

# 三水会会報

北里大学水産学部  
同窓会会報  
第 44 号

平成 14 年 9 月 5 日発行

編集者 川添 一郎

発行 三水会 (北里大学  
水産学部同窓会)

事務局 〒246-0031 神奈川県横浜市  
瀬谷区瀬谷5-22-1  
TEL・FAX045-303-3135

振替口座 みずほ銀行  
大手町支店  
008-1182388

平成14年度総会報告

P 2

若手研究者奨励賞を受賞して

P 6

大学との懇談会開催

P 3 ~ 4

クラブ助成金を受賞して・体育祭報告

P 7

関東地区親睦会開催

P 5

「見たい・知りたい・話したい」

P 8



〔講義風景〕奥村誠先生「水産遺伝育種学」



〔実験風景〕林崎健先生「水圏生態学講座担当」  
「水産生物学実験」



# 平成十四年度 三水会定期総会報告



平成十四年度定期総会が五月十九日(日)午前十一時より本学白金校舎E号館八〇二会議室で開催された。  
 理事・代議員四十六名が出席(内委任状二十四名)総会は成立した。  
 議長に河村尚之氏(六期食品)、議事録署名人に水石博彦氏(十期増殖)・磯山直彦氏(十六期増殖)を選出し議事に入り上程された前年度事業報告・

同収支決算・平成十四年度事業計画案・同収支予算すべて原案通り賛成多数で可決されました。総会において承認された昨年度の決算・本年度の事業計画・予算は次のとおりです。

## 平成十四年度 事業計画

一、会報の発行  
 同窓生の動向、学部の実況、各種の情報

等を含めとした会報を平成十四年九月と平成十五年三月の二回発行する。  
 二、「水産学部だより」の配布  
 本学水産学部の発行する「水産学部だより」を増刷し、全会員に配布する。  
 三、会員の現況の把握  
 全学同窓会と連携し、不明会員の調査等名簿情報の正確性の向上に努める。尚、今年度は新管理システム導入に基づき特別調査を実施する。  
 四、同期会等の助成  
 同期会、講座別同窓会及び地方支部親睦会等卒業生の集いの費用の一部を助成する。本年度北海道地区開催予定の親睦会に協力助成する。なお、各研究室OB会設立に伴う特別助成を行なう。

五、親睦会の開催  
 関東地区会員を主な対象とした親睦会を開催する。  
 六、懇談会の開催  
 大学、水産学部在学生との懇談会を開催し意見交換を行なう。  
 七、学友会助成  
 クラブ活動費および大学祭、体育祭費用の一部を助成する。  
 八、就職ガイダンスの開催  
 各分野の卒業生による就職ガイダンスを水産学部生を対象に三陸校舎にて行なう。  
 九、漁船海難遺児育英会寄付  
 漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に対し寄付を行う。

## 平成13年度 収支決算書

支出の部			収入の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
1. 事業費	3,050,000	2,585,548	1. 部会助成金	4,260,000	4,260,000
(1) 会報発行費	1,400,000	1,358,215	2. 前年度繰越金	1,998,167	1,998,167
(2) 学部だより配布費	250,000	178,500	3. 貯金利息	4,695	2,281
(3) 関東地区親睦会費	500,000	445,036	4. 雑収入	390,000	135,000
(4) 同期会助成費	250,000	131,000			
(5) 大学・学生懇談会	150,000	129,017			
(6) 学友会助成費	200,000	200,000			
(7) 就職ガイダンス費	250,000	93,780			
(8) 漁船海難遺児育英会寄付	50,000	50,000			
2. 運営・管理費	2,570,000	1,694,702			
(1) 印刷・通信費	300,000	221,865			
(2) 会議費	550,000	369,577			
(3) 総会費	100,000	73,000			
(4) 事務局費	1,590,000	994,510			
(5) 慶弔費	30,000	35,750			
3. 予備費	1,032,862	2,115,198			
(1) OB会等出席費	—	144,360			
(2) デジタルカメラ購入	—	60,501			
(3) 次期繰越金	1,032,862	1,910,337			
合計	6,652,862	6,395,448	合計	6,652,862	6,395,448

## 平成14年度 予算

支出の部		収入の部	
科目	予算額	科目	予算額
1. 事業費	3,200,000	1. 部会助成金	4,290,000
(1) 会報発行費	1,500,000	2. 会報郵送料補助	438,000
(2) 学部だより配布費	250,000	3. 前年度繰越金	1,910,337
(3) 関東地区親睦会	500,000	4. 貯金利息	2,281
(4) 同期会助成	250,000	5. 雑収入	390,000
(5) 大学・学生懇談会費	200,000		
(6) 学友会助成費	200,000		
(7) 就職ガイダンス費	250,000		
(8) 漁船海難遺児育英会	50,000		
2. 運営費	2,940,000		
(1) 印刷・通信費	300,000		
(2) 会議費	550,000		
(3) 総会費	150,000		
(4) 事務局費	1,890,000		
(5) 慶弔費	50,000		
3. 予備費	890,618		
合計	7,030,618	合計	7,030,618

# 「大学・三水会懇談会」

## の報告

8A 内藤文隆理事

六月十五日(土曜日)白金の薬学部一号館新校舎五階セミナー室において、本学水産学部出身で現在三陸において教鞭を執っておられる高橋先生、奥村先生、朝日田先生、森山先生をお迎えして、三水会と大学の懇談会が行われました。三水会からは長谷川会長、長屋前会長、一期の大野氏、石井氏、伴氏、四期の町野氏、石井氏、五期の水野氏、六期の川添氏、八期の内藤、十期の黒沢氏、十四期の西尾氏、十六期の小林氏、十七期の田中氏の各理事、監事が参加しました。

通常、大学との懇談会は三水会から代表者が三陸へ赴き学生や教員との意見交換を行うものでありましたが、今回は三陸での学生生活を体験しており、かつ、現在も学生と深いつながりを持っている四名の先生方を白金にお迎えして、現在の大学の事情や学生の動向などの情報を提供していただくこととなりました。

始めに会長から挨拶がありました。

三水会は一九八〇年に創設し、現在約四三〇〇名の会員がいるなど三水会の現状と事業活動について説明がありました。その後、フリートークの形式で、大学の現状や学生についての説明や質問が活発に交わされました。水産学部の大きな変化としては三年前より一部一学科制度が導入され、今年の四年生の卒業と同時に食品学科及び増殖学科の学生がいなくなります。

また、日本技術士認定機構注(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education)から、水産学部を卒業すると水産技術士受験資格の取得ができる制度や Faculty Development (FD: 学生からの教員の評価システム)の導入が前向きに検討されています。これにともない講義内容や学生の理解度などが第三者機関によって調査され、卒業生が水産技術士受験資格をもつ能力があるかを審査されるなど、今までにない大きな変化が始まるようです。このような大学制度の変化と同じく学生の生活環境も、学部創立三十年を迎えて大きく変化し、携帯電話の普及

やコンビニエンスストアなど都会と変わらない生活環境が浸透してきています。住居も、バス・トイレ付きの個室形式が中心となりつつあり、隣人がだれか知らないといった、まるで東京の生活のような現象が起こっています。学生同士の間は縦の関係はもとより横のつながりも希薄になっているようです。

理事の中からは三陸らしさ、地理的なよさが失われているのではないかとの意見もありました。学生の気質は都会の大学とあまり変わらなくなってきたおり、その原因として受験生の大学選択の基準が学部の特性というよりは成績で大学を選択しているためではないかという指摘もありました。最近の学生はほとんどが首都圏出身で同レベルの学生が多くユニークさにかけるところがあるようです。反面、平均して成績はよく、レベルは高まっているようです。クラブ活動については、学友会活動が廃止されました。クラブ活



活発な意見交換が行なわれる

動は複数のクラブを掛け持ちする  
ような熱心な学生も多くいるが、  
クラブに入らず少人数で行動する  
学生も増えてきているようです。

卒業生を多く採用している会社  
にお勤めの理事からは、北里の学  
生は新しいことへの対応や事務処  
理能力に難があるが海外への適応  
性は高いとの評価がありました。

先生方からも自分から新しいこと  
に取り組むことは苦手で指示待ち  
の傾向が強いとの指摘がありました。  
学生同士のつながりが希薄になっ  
ている反面、教員との対話は親密  
に行われているため海外での先生  
方の活動を耳にする機会が多く、  
そのために海外への適応性が高い  
のではないかと話もありました。

実際には大学三年間はレジャー  
ランド、四年生になってようやく  
技術を受け継ぐ機会を持つという  
のが現状であり、その結果、卒論  
も教員や大学院生の指示の基に進  
められるため指示に従い、体を使  
うことはいとわなないが創造性に乏  
しくなるのではないかと卒論の進  
め方にも問題提起がなされました。

先輩、後輩のつながりが薄くな  
る中、就職活動に関しても先輩を

あてにせず活動しているケースが  
多く、これは企業がインターネッ  
トを用いて面接のアポイントやガ  
イダンスの情報を流していること  
による影響が非常に大きいようです。

少子高齢化は大学の基盤である  
学生の応募状況にも影を落として  
おります。現在JABEEやFDの導  
入など学生の利益を考えた機構改  
革を進めている一方、もつと三陸  
の地域の特徴を生かした講義や実  
習を取り入れることが急務という、  
先生方の意見に我々一同賛意を示  
しました。また、水産学部を卒業  
して良かったと感じる学生を増や  
すことが大切であり、そのことが  
帰属意識につながり、口コミによ  
る受験生の紹介や、卒業生の子息  
が水産学部へ入学するという、循  
環をもたらし、帰属意識を高める  
ために、三水会の役割は重要であ  
るという意見も先生方からありま  
した。

今後はホームページの活用や同  
窓会の活動の中で、もつと学部  
の評判を広めていくことが重要であ  
るとの意見もありました。そのた  
めにも教員の資質が問われる時代  
になってきているという意見も見

受けられました。三水会とし  
ては水産学部の広報の一環と  
して帰属意識という観点から  
バックアップをすることともに、  
今後は本学水産学部出身の先  
生方を後援する形で学部運営  
が学生や卒業生の方に視点を  
向けたものになるように、運  
動を展開することが大切であ  
るとの意見が参加者の多くか  
らありました。

フリートークということも  
あり、多岐にわたる内容で話  
し合いが時間いっぱいまで活  
発に行われました。その後、  
親睦をかねて二次会に移り、  
さらに忌憚のない意見の交換  
が繰り広げられ、このような  
機会を今後も持ち続けて、学部、  
同窓会が発展することを各人  
が祈念しつつ、盛況の中解散  
となりました。

\*注

日本技術者教育認定制度とは大学など高  
等教育機関で実施されている技術者教育  
プログラムが、社会の要求水準を満たし  
ているかどうかを外部機関が公平に評価し、  
要求水準を満たしている教育プログラム  
を認定する専門認定 (Professional



右より高橋・奥村・朝日田・森山の各先生方

Accreditation) 制度です。日本技術士認  
定機構 (JABEE : Japan Accreditation  
Board for Engineering Education / 設立  
1999年11月19日) は、技術系学協会  
と密接に連携しながら技術者教育プログ  
ラムの審査・認定を行う非政府団体です

## 関東地区親睦会に参加して

増殖学科6期 中村 進弥

去る平成十四年七月二十八日、神奈川県道志川支流にある、神之川キャンプ・マス釣り場に於て、三水区関東地区親睦会が開催されました。小学校四年生の息子が以前から魚釣りがしたいと言っていたところに友人より誘いがあり早速参加させて頂く事になりました。

当日は薄曇りで真夏の青空とは言えませんでした。まずまずの行楽日和。三十家族ほどが参加され、井田先生のお顔を拝見致しました。集合場所で受付を済ませた人から思い思いの場所で釣り始め、あちらこちらで「釣れた!」「逃げられた!」と子供達(だけではありませんでした)の歓声が上がりました。次々に大物?を釣り上げていました。我が息子も初めての釣りでしたが私よりも多く釣り、得意顔で配られた弁当を平らげていました。

午後からは子供つかみ取り大会が始まり、大小のニジマスが放された浅瀬に子供達が一斉にとび込

んで行きました。懸命に魚を追う子供達の中に徐々に大人の数が増えて行くのは何故でしょう?

旧交を温め合う会員。童心に返って泳ぐ人。子供そっち退けで釣りに熱中する人。終始和やかな雰囲気の中、夏の一日を子供と過ごす事が出来ました。

卒業してから二十余年、家庭を持ち、仕事も多忙な毎日で、仲々遊びにも出掛けられないのは私ばかりではないと思います。五年程前にも一家で親睦会に参加させて頂きましたが、その日も一日楽しく過ごす事が出来ました。家族で気軽に参加出来る親睦会を、役員の方々が毎回企画開催して下さい、心より感謝致します。

最後に、益々三陸ファミリーの輪が広がる事と、三水区会員の皆様の更なるご活躍を願って、甚だ稚拙な文章ではありましたが、報告を終わらせて頂きます。

### 成績

総合優勝	4 A 田中 一彦 御一家
準優勝	6 F 久保 孝志 御一家
3 位	2 A 石崎由紀夫 御一家



子供達つかみ取り



溪流での釣り



表彰式



計量

## 若手研究者奨励賞を受賞して

食品学科18期 小野 要

この度、平成十四年度北里大学同窓会若手研究者奨励賞の受賞者に出選していただき有り難く思っています。

また、奨励賞受賞式の日と同じ日に三水会の定例総会もあり、多くの先輩方ともお会い出来ました。長谷川会長をはじめとする先輩方は、自分のことのように喜んでくれ大変、嬉しく思えました。

その日の夜、恵比寿駅近くの Fine (イーネ・イーネ) というワインカフェで懇親会が開かれ、三陸での思い出話に花が咲き、盃を酌み交わし楽しい時間を過ごしていました。

私が奨励賞を受賞したテーマは鹿児島湾における赤潮の発生と二枚貝の毒化についてで、先日、実験で用いる二枚貝を取りに行きました。その日は大変いい天気で多くの家族連れが潮干狩りに来ており、私達もその中で貝を採集していました。その日、Tシャツ、短パンそして裸足の姿でアサリとハマグリを四〇〇から五〇〇匹採集出来ました。中には大きいものでは十cmぐらいのハマグリも採集できました。その時、一人の学生が「僕はどれだけが

んばって貝を取っても食べることができないんですね」と言われ、その場に笑いがこぼれていました。

私は鹿児島島に移って十年が経ちます。生活をはじめた当初は南国という感じでこちらに移るまでは毎日、桜島の灰まみれになって生活するのかと思っていたところもあります。しかし、鹿児島島は思ったより生活しやすく心地よい場所です。また、鹿児島でも三水会会員の集まりは行っています。数年前、ちよつとしたきつかけで鹿児島島で初めて水産学部卒業生が、集まることになりました。そのきつかけとは、先輩との出会いがはじまりでいつものようにあつて食事をしていたとき、「鹿児島島県には、三水会の支部とか鹿児島在住の卒業生の集まりとかはないのかな?」と問いかげられ、この会話から三水会の会員が集まることになりました。鹿児島島は、他の県に比べ変わった形をしており、さらに奄美大島や種子島といった離島も多く、集まるには困難な点が多々あります。

しかし、当日、集まったメンバーのほとんどがホテルを予約し、この会に出席されることになりました。長い間このような場がもたれなかったせいもあり、初対面の緊張もあり、会話が進まず、時間の過ぎるばかりでした。しかし、時間が経つにつれて三陸町と

いった共通の話題があるため、会は盛り上がり夜が過ぎていきました。今ではこの集まりも年一、二度行っていますが三水会鹿児島支部として発足していませんが近い内に支部を開設できれば良いと思っています。

最後に今回の受賞に際し、長谷川会長をはじめとする同窓会の皆様方に感謝いたします。

ワインカフェ Fine (イーネイーネ) は (5A) 白井久嗣さんのお店です。TEL 03 (3441) 7300



鹿児島県三水会の面々



奨励賞受賞の小野要氏



ワインカフェ Fine (イーネイーネ) にて大野先輩祝いの口上

## 硬式庭球部 クラブ助成金を受賞して

主将 杉本 雄司

この度は、三水会助成金を頂きまして、誠にありがとうございました。

私たち硬式庭球部は、週三回のペースで、現役十名に加え、OBの先輩方も研究の合間などに来て下さるので、とても活気のある活動を行っています。また、十和田キャンパスの硬式庭球部とも交流が盛んで、合同練習や合宿、試合の際にはチームを組んで、お互いに刺激し合いながら一丸となって頑張っています。

春には、東北学生大会から始まって、リーグ戦、岩手県学生大会、インターカレッジの大会があり、夏には東北学生大会、秋には新人戦、青森県学生大会と一年を通じて様々な大会に出場しており、その他にも他校と対抗戦を行ったり、釜石で行われてい



受賞クラブ(テニス部)

る市民大会に参加したり、時には先生方と試合したりしています。この春出場した大会では、一人一人ベストを尽くし、日頃の練習の成果を発揮することが出来ました。そしてまた、各々新たな目標に向けて、日々練習に励んでいます。

さて、頂いた助成金ですが、話し合った結果、チームウェアを購入させて頂くことにしました。部員一同これを励みに、さらなる向上を目指し、より活発で活気のある部活動にしていきたいと思っております。

今後とも、御指導、御鞭撻を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

## 体育祭報告

FOO153 堀田 剛史

三陸に暖かい日々が訪ずれ始めた五月十八日、十九日に体育祭が行なわれました。

今年の種目はグラウンドでは、ソフトボール、フットサル。体育館では、ドッチボールが行なわれました。今年もすべての種目において、怪我などのハプニングもなく、大いに盛り上がり、白熱した試合が続き参加者は大いに楽

しむ事が出来たと思います。

今回の優勝チームは、三年生主体のチームと四年生主体のチームでした。学年という壁を超え、三陸の学生同士が知り合える機会の一つの場であり、試合中は先輩、後輩関係なく、大いに楽しんでいました。今回の体育祭で学生同士の輪がより一層深まったのは間違いありません。我々実行委員は、このように大きなハプニングもなく、参加者に大いに楽しんでもらい、この上ない喜びを感じています。このような成功、また無事に体育祭を終える事が出来たのは、実行委員の方々、体育祭に参加していただいた方々、そして体育祭開催にあたり影ながらご協力をしていただいた方々のおかげです。

成功のご報告と同時に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



体育祭

## 投稿 恩師を訪ね

増殖学科3期 近藤 学

四年に一度オール北里剣道部OB会参加へ向け、北海道知床半島の付け根、斜里より上京。この度は二日多い休暇を取り恩師、小林正典先生在任の信州松川村へと足をのびした。

新宿より特急「あずさ」(二号?)に乗り込み、三時間、北アルプスの山ふところ、安曇野にある師宅を訪ねました。卒業以来、二十四年ぶりのご拝顔、電話では度々お話しもいたしますが、先生、奥様お変わりなく大変お元気であります。地酒、岩魚料理、馬刺、そは、信州の絶品の数々に下づつみ。そして三陸時代の懐かしい話し、ご馳走様でした。春霞、残雪の山々、雪解けの小川、信濃路の春を満喫した二日間でした。先生、奥様お世話になりました。皆様も出掛けてみてはいかがですか。



小林先生と私

# 見たい・知りたい・話したい

## ◆ 事務局からのお知らせ ◆

### ■北里大学水産学部創立 30 周年のお知らせ

私達の母校である北里大学水産学部は昭和 47 年 4 月に創設され、平成 14 年 4 月をもちまして満 30 周年を迎えました。水産学部ではこれを記念して、平成 14 年 10 月 5 日（土）水産学部および大船渡市立公民館において、式典・祝賀会を行います。参加を希望される方は、水産学部事務室（TEL0192-44-2121）までお問い合わせください。

### ■水産微生物研究室 OB 会のご案内

野村先生の兼ねてよりのご希望で今回は三陸で開催致します。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日 時：10月5日（土） pm6：00より

場 所：水産学部（会場は未定ですので後日ご連絡いたします。）

※誠に申し訳ありませんが宿泊場所は、各自で御準備ください。管理棟は、10/5 空きがあるそうです。当日の人数把握のためご参加頂ける方は下記まで必ずご連絡ください。

連絡先：10期 黒澤 明

h.p 090-4831-6773 @ : kuroaki610611@docomo.ne.jp kuroaki@livedoor.com

尚、当日水産学部では 30 周年記念式典があり、式典は午前 10：30 から 11：30 までキャンパスで、祝賀会は 12：30 から 15：00 まで三陸公民館で行われております。確認はしておりませんが式典へは、参加できるのではないかと思います。

### ■魚類生理学研究室 OB 会開催のご案内

OB 各位におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 11 年 11 月 13 日以来、実に 3 年 17 日ぶりに魚類生理学研究室 OB 会を開催したくご案内申し上げます。しかしながら、この案内を作成している 7 月 20 日現在、開催日時は平成 14 年 11 月 30 日（土）午後、開催場所を東京白金校舎・恵比寿付近というところまで決定しております。

もちろん、詳細な開催時間、場所、内容並びに費用などについては、決まり次第連絡致しますのでご心配なく。当日は、三陸より山森先生はじめ多くの先生方にもご出席していただく予定です。ご家族同伴も大歓迎ですので、お誘い合わせの上、多数の方々のご参加をお待ちしております。

なお、ご参加希望の方は、下記の申込先へ 10 月末日までに申し込みください。

申 込 先：石井美華（4 期）

TEL・FAX045-303-3135 E-mail : mika1211@helen.ocn.ne.jp

### ■出版のお知らせ

「水産環境の科学（早川・安田編著）」が（株）成山堂書店から出版されました。早川先生が三陸在職中に実施した大船渡湾環境調査や水産学部の先生方と共同研究中のインターネット環境情報システムを紹介すると共に、水産環境の各テーマをやさしく解説してあり環境に興味のある卒業生や在校生に一読をお勧めします。定価 2,940 円（税込）のところを 2,700 円（税・送料込）で入手できます。現在、早川先生は水産大 学 校 教 授 としてご活躍中です。

注 文 先：アジア航測株式会社 山本史郎 TEL：046-223-3624 E-mail : ymmt0901@aol.com

三水会ではこの度、オリジナル大漁旗シールを作製し会員の皆様にお届けします。UV 加工してあります。愛車のウィンドウ等に貼り三水会を大いにアピールしてください。

### 編集後記

ワールドカップの熱気もさめたとはいきや、残暑も峠を越えようとしています。なにやら毎日が非常にはやく過ぎ去る思いをしている今日この頃です。同じ思いをしている諸兄もおられると思いますが、三陸だけは時間が止まっているものと信じていたところ、大学の先生方との懇親会では学生の気質もアパートも大きな変化の波にさらされているようです。三水会も会員が増えて考え方や年代も多様な構成となってきているということも改めて実感した次第です。これは三水会という組織が変化しながら成長しているのだと思います。このネットワークは仕事にも極度に役立つことがあるかもしれません。多くの場合、最近流行の癒し効果があるのではないのでしょうか。せつかくのネットワークです。三水会のイベントに参加したり、仲間同士で集まってみたり、身近な会員とのネットワークを作ってみてはいかがでしょうか？まずは飲み会からでも！FN.